

日本の福祉の歴史を拓いたのは会津だった！



●徳川2代将軍の秀忠の子である保科正之翁は會津藩初代藩主。将軍の補佐役を務めていた頃から善政の人でした。大名の養子制度を緩和してお家断絶に伴う浪人の増加を防ぎ、美風とされた殉死を禁止し、江戸城出火の際には「戦国時代の遺物だ」と焼失した天守閣を再建せずに、財政規律の順守に努めました。

●また、寛文3年(1663)から90歳以上の高齢者(身分や男女を問わず)1日玄米5合を生涯給付する事業を単独で始めました。これは「最初で唯一の国民年金制度」と評価されています。

(武士以外の身分に年金制を布いた藩は他にありません。すごいぞ会津！)

その後、日本に初の社会保障らしき制度が初めてできたのは、明治8年。ナント310年後！のことでした。



では明治から戦後までの日本の社会保障「前史」を見ていきましょう。

明治37年~38年 大正3年~大正7年 ひっばく
▼明治以降の日本は、日露戦争や第一次世界大戦の結果、国の財政は深刻に逼迫し

大正7年 大正9年内務省に社会局が設置された
ており、米騒動などの暴動が各地で頻発(戒厳令が敷かれる程拡大)します。まず、

大正11年健康保険法 労働者保護が成立したものの、国策の「富国強兵」や“個人責任論”「家制度(舅

姑の面倒は嫁がみるのが当たり前だ)」など世相もあり、事業として少しも前に進み

ません。▼更に関東大震災、世界大恐慌により、貧困者が激増、生活保護が国

政の急務となり、我国初の本格的な福祉法「救護法」が成立しました。しかし財政難

のため施行できず、昭和7年、競馬の益金を充てる法律の制定を待ってやっと施行

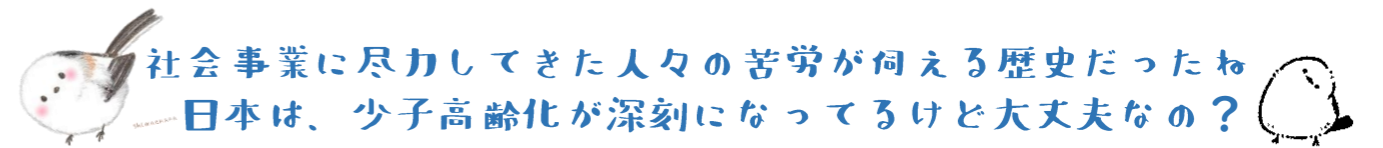
されるという状態でした。その後児童福祉が加わりますが、昭和12年、日中

戦争勃発。急遽内務省社会局が「厚生省」として独立し、「社会事業法」ができま

す。▼こうした多難な経緯を経て+生活保護+障害福祉+高齢福祉+

母子家庭福祉などの『福祉六法』が法律として成立したのは昭和39年の事でした。

戦後、日本は高度経済成長と共に本格的に福祉国家へと発展して行きます。



社会事業に尽力してきた人々の苦勞が伺える歴史だったね
日本は、少子高齢化が深刻になってるけど大丈夫なの？

日本の「2050年問題」と呼ばれるシナリオがあります。人口減少(生産人口も減少)、後継者不足に陥り各種産業の技術革新が無くなる、エンドレスな長寿化、出生率の激減、温暖化による環境悪化、貧困の蔓延…など、暗く辛いシナリオです。けれど「社会保障は費用が莫大だから…」と社会保障を削ったり切ってしまった政府は、社会不安や暴動などが蔓延する治安の悪化を招き、社会を混乱させ経済的に逼迫するなど「百害あって一利無し」な事は世界各国で歴史が証明しています。

日本の福祉は幸福♡に向かって進むのだ！

『住み慣れた家(や施設)』と『気心の知れた人々』の中で
人生の最終章まで『自分らしい暮らし』が続けられる、

生活支援コーディネーター

…支え合いのある暮らしを私たちSCは目指しています。



元気な地域であり続けるための「協議体」などの企画



気にかけて合うきっかけづくりと気にかけて合うつながりの維持を応援

12月16日(木)
13:45~15:15頃
於:チャランドリー井戸端
メケメケ

幸せがずっと続く
村であるために、
私たちが決めた
いくつかの事。

地域のしあわせづくり活動会「語り部の会」
6月12日、既設を誇るグループ「語り部の会」は、三郷町の語り部で有名な五十嵐七重先生を講師にお招きして、勉強会をおこなわれました。
この日は聴覚障害者と聴覚障害者の家族も参加されたこともあり、七重先生は「聞いてたことが少なすぎるから聞いてくれるのが嬉しい」と、孝安よりお礼の言葉を述べられました。
勉強会が終わると、ごんごんは地域の語り部会が、久々の集まりを楽しまれたようです。

昭和村つながる通信 vol.3
お元気ですか？昭和村の通信は、地域の最新ニュース、生活情報をお届けする『昭和村つながる通信』も9号となりました。健康やつながりを大切にし、暮らしのヒントをお伝えしたいと考えています。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。
『協議体』で
道草一でんた 野風ゆい県産部
昭和地区には、地域の会費員を会員とする『おいづくら』があります。「地域と自分たちの暮らしを守る」ため、防災や高齢者支援など幅広く活動しています。『協議体』は『おいづくら』の事を考えてきたが『協議体』が深くならなければいけない。「自分たちの暮らしを守るために最良の形をいなければいけない」と、内閣府から「野風ゆい県産部」と共に、見本市でたのびの活動が盛り込まれた。『おいづくら』の運営とも合致し、機材費や印刷

地域のお宝(住民さんの活躍の場、支え合い)を発掘して発信!